

金網一筋に約1世紀 時代と向き合う開発型町工場

石川金網株式会社 代表取締役社長 石川幸男氏

戦前から戦中、戦後と 変遷を重ねた金網作り

各種産業向けのフィルターや、フェンスなどの建築資材、調理器具、電化製品、装飾品など幅広い用途で利用されている金網。石川金網株式会社は1922(大正11)年に創業し、東京・荒川の地で1世紀近くにわたり、金網を作り続けている専門メーカーです。

「創業者は私の祖父。当時需要が伸び始めていた金網の工場を建て、手織りで作り始めた」と聞いています。当初は農業や建築現場などで使うふるいやさるなどが中心だったようです」と、3代目になる代表取締役社長の石川幸男氏。以来、金網一筋で今日まで歴史を

つむいできた会社ですが、その道のりは平坦ではありませんでした。

「戦中は軍事協力工場に指定され、軍事関連の金網の製造を求められました。戦後、工場を新築して織機も導入し、建築用金網の製造を開始しました。その後、和菓子製の製館の裏ごしに使う金網を独自に開発してそれがあたり、高度経済成長の波に乗ったことにより、ようやく経営が安定し始めました」

「金網作りは今も職人の手作業が残る分野。その技術を次世代につないでいきます」



戦前から多様な金網を作り続けてきた。現在の主力は化学産業向けの押出機のフィルター。

3代にわたる事業革新の歴史 今も続く新事業への挑戦

石川氏の父が社長に就任した1970年代、オーディオブームが到来すると、同社は大手家電メーカーとタイアップしてスピーカー用のネットを開発。さらに家庭向けのビデオカメラが登場すると、そのマイク用のカバーを開発・製造するなど、時代のニーズに対応し、業容を拡大してきました。「祖父も父も旧弊にとらわれず、つねに新しいことに挑戦してきたという意味で共通していました」

2004年にトップを継いだ石川氏にもその資質は受け継がれているよう



折り紙のように折ることができる「おりあみ/ORIAMI®」。金属とは思えないしなやかな風合いを誇る。

です。現在の主力は、プラスチック製品の原料を作る押出機と呼ばれる機械に使われる金網製のフィルターで、昭和の時代から展開している事業です。一方で石川氏の代になってから始め、注目されている事業もあります。

そのひとつが同社オリジナル金網の「KANADORI®」。これはアルミやステンレス、銅、真鍮など同社が原料として扱う異なる素材を織り合わせることで、布のようなしなやかさをもたせた金網。素材の組み合わせや織り方を変えることで、強度や伸縮性が変わるため、多様な可能性を秘めています。

同社は社外のデザイナーなどと連携し、この素材を使ったランプシェイドやトートバッグなどを海外の見本市に出展し、大きな反響を呼びました。また、2020年には金沢市のホテルがこの素材を使ったウォールカーテンをロビーに採用するなど、インテリアとしても評価されつつあるといいます。

同社の職人のアイデアがきっかけとなって開発した金網の折り紙「おりあみ/ORIAMI®」(以下、「おりあみ」)も要注目。金網が個人向けのホビー製品に進化し、ホビー産業大賞(経済産業大臣賞)を受賞しました。

金網の折り紙を開発し ホビー分野に進出

「おりあみ」は、折り紙と同じように折ることができる布のようにしなやかで紙のように張りがある金網。紙に比べ形状が長くしっかりと保たれるという利点もあります。「試行錯誤を重ね、けがをしない安全な金網になっていきます」と石川氏は強調します。

この製品は現在、金色の「丹銅」、銀色の「ステンレス」、銅(茶)色の「純銅」の3種と、それらのカラーバージョンを取り交ぜた「MIX」の4種類をラインアップ。インターネット通販に加え、大手雑貨店やミュージアムショップなどで販売しています。

同社は、新型コロナウイルスの感染拡大後、抗菌性のある、おりあみの純銅を使ってマスクを作る方法も提案。10月に東京で開かれたファッション展示会でもこうした抗菌グッズを出展、大きな反響を呼びました。

長くBtoBのビジネスを主力にしてきた同社にとってBtoCビジネスで一定の成功を収めたことが「社員たちの自信やモチベーションのアップにつながり、社内の空気が明るくなりま



東京都荒川区の本社に隣接した工場、熟練の職人たちが黙々と金網作りに精を出している。

した」と、石川氏は顔をほころばせました。それは長年顧客企業の求めに応じて新たな金網製品を開発してきた同社の技術力が確かであることを証明したともいえるでしょう。

「この先も生き残っていくためには開発力・技術力が命です。「こんなのできませんか」のニーズにこれからも応え続けていきます」

Profile

石川金網株式会社

1922(大正11)年創業の老舗金網メーカー。化学工業製品用の機械や自動車などのフィルター、建築素材などを製造。企画・開発から製造までの一貫生産体制が強み。2015年、金網版の折り紙「おりあみ / ORIAMI®」を開発、発売した。